

中島 玲樹

「中」 作品解説

初めて習字をしました。

ぼくの名前の「中」を古代文字で書きました。

紙いっぱいを書くように工夫しました。

筆で書くのは難しかったけれど、何回も練習しました。

白川文字で書く「中」の2画目は、曲線です。

この曲線を力強く書いたので、迫力のある「中」になりました。